

volvox

ロマンティック・ウォール J

Romantic Wall

J

施工マニュアル

施工前に本要領書をよくお読みになり、施工方法を熟知された上で作業を始めて下さい。

北海道の名産「ホタテ貝」。ロマンティックウォール J は、その貝殻の有効活用から生まれた内装壁塗り材。美しい仕上げと健康にやさしい素材なので快適な室内環境を実現します。ドイツ製の粘土とホタテ貝殻による、まったく新しい室内壁用左官塗り壁材です。



あいもり株式会社

〒052-0026 北海道伊達市錦町 105 番地 セントラルビル 3F

Tel: 0142-23-8811 / Fax: 0142-23-8833

URL <http://www.aimori.net/> E-mail info@aimori.net

下地編 (1)-2 下地処理の方法 (石膏ボード以外の場合)

石膏ボード以外の下地の場合、必ずシーラー処理が必要となります。

下地の急激な水の吸い込みによるドライアウト等を防ぐために行います。

[シーラー処理方法]

1. シーラー材は、ハネダ化学工業(株)の「ハイポリックシーラー」をご使用下さい。
(ホルムアルデヒドを発生する可能性がないのでお奨めいたします)
2. シーラーは、2回塗りをして下さい(原液)。施工する面に1回目のシーラーを塗ります。
1回目のシーラーが完全に乾いてから2回目のシーラーを塗って下さい。
(塗りむらがあると水の吸い込みが違い、色むらの原因になります)
3. 専用下塗材(クレイベース)の施工は、2回目のシーラーが完全に乾燥してから行って下さい。
シーラー処理を行った場合は、翌日以降の施工をお勧めします。

構造用合板の場合

1. ジョイント部分、出隅、入隅部分にGファイバーテープを貼り、補強して下さい。
2. 構造用合板を貼る際に、サビの出るおそれのある釘を使用した場合は、サビ止め処理をして下さい。
3. 施工面へシーラー処理(上記参照)を2回行います。

※ 同じ仕上げ面で下地が違う場合(合板と石膏ボードなど)は、ジョイント部分でひび割れが生じるおそれがあります。見切り縁、目地などを入れることをお勧めします。

コンクリート下地の場合

1. 下地調整塗材(シゴキ材)をその製品の施工手順の通り塗布し、段差、ピンホール等がないよう平滑にして下さい。
2. 施工面へシーラー処理(上記参照)を2回行います。

※ 上記以外の下地へ施工する際には、必ず弊社までお問い合わせ下さい。

下地編 (1)-1 下地処理の方法 (石膏ボードの場合)

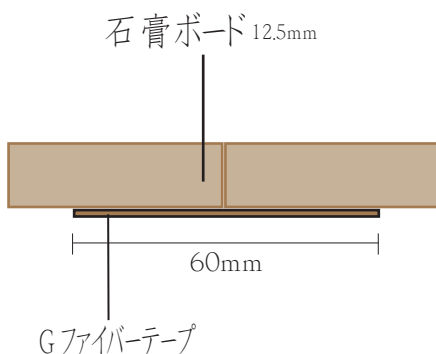
下地の扱い

1. 下地は、12.5mm 厚の石膏ボード (平ボード) をご使用下さい。
2. 下地石膏ボードはジョイント部分、廻り縁、枠、幅木などはできるだけ隙間のないように貼り込んで下さい。
3. 隙間が 3.0mm 以上ある場合は、あらかじめパテ処理を行って下さい。
4. 廻り縁、枠、幅木の使用を標準として下さい。
5. 廻り縁、枠、幅木のチリは塗り厚 2.0mm のため、5.0mm 以上が理想です。
6. 石膏ボードは下地の動きを押さえるため、約 15cm 間隔で垂鉛メッキ又は、ステンレスビス止めをして下さい (クラックやサビの浮き出し防止のため、釘止めは行わないで下さい)。
7. 石膏ボードと合板が同じ仕上げ面にあると、色むらやクラックの恐れがありますので、避けて下さい。見切り縁、目地などによる処理をして下さい。
8. 出隅など、石膏ボードの切り口が表面に出ている箇所は、水引が激しいため、色むらやクラックになる恐れがあります。必ずパテ処理をしてからシーラー処理をして下さい。

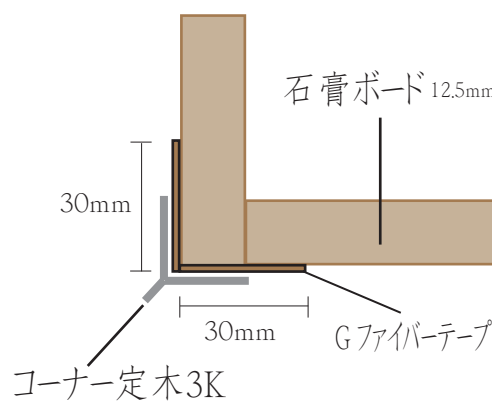
石膏ボードのジョイント処理 (Gファイバーテープ貼り)

1. ジョイント部分にGファイバーテープを貼り付けていきます。
2. 出隅、入隅部分にも同様にGファイバーテープを貼り付けます。
3. 出隅部はコーナー補強材 (フクビ : ニューツーウェイ定木 .3K) などで補強して下さい。

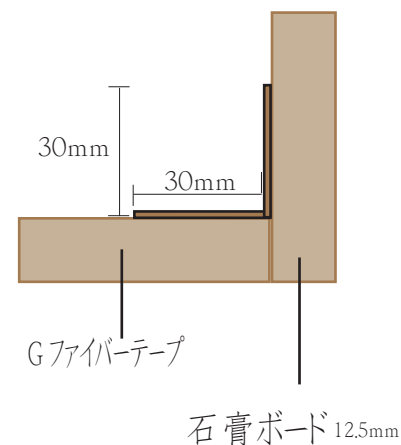
タテジョイント



出隅部



入隅部



施工前の準備

事前に準備するもの

1. 防塵マスク・ゴム手袋（本品には毒性はありませんが、用心のため、開封・攪拌時の着用をお勧めします）
 2. プラスチック製の舟（20kg 入袋 ×2袋が一度に攪拌できる大きさが理想）
 3. 左官用ポリバケツ（径 300mm）
 4. 攪拌機（高速用）
 5. ジョイント用パテ材、Gファイバーテープ（石膏ボードのジョイント補強用）
 6. マスキングテープ（木枠、幅木廻り等の養生用）
 7. コーナー補強材（フクビ：ニューツーウェイ定木 .3K）
 8. ステンレスこて、ハケなど
 9. 専用下塗材（クレイベース）
- ※ ステンレスこて以外の金こてを使用すると、サビの原因となります。

練り混ぜ時に準備するもの

1. 練り混ぜ水には水道水または、それに準ずるきれいな水をご使用下さい。
2. 練り水の量により、ひび割れや色むらが生じる恐れがあります。基準水量は、地域や季節によって異なる場合もありますので、現場における微調整をお願いいたします。

施工前の注意事項

安全上の注意点

本品は、取扱いには以下のことにご注意ください。

1. 作業にあたっては、作業着を着用し、素肌の露出を少なくして下さい。
2. 目や口に入らないようにして下さい。誤って、入った場合は、すみやかに清浄な水で洗淨して下さい。
3. 本品は弱アルカリ性ですので、素手でさわった場合には、すみやかに洗淨して下さい。
4. 本品は食べ物ではありません。

保管および廃棄上の注意

1. 製品の保管はセメントと同様に湿気のないところに保管し、開封後はなるべく使い切して下さい。
2. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
3. 練り混ぜ後の材料や水の廃棄は環境公害にならないように適切に処理をしてください。

現場環境の注意

1. 冬期間の施工は温度管理を充分にし、気温が5℃以下の場合は、施工を避けて下さい。
2. 冬期間や湿気の多い場所では硬化乾燥が遅く、色むら、凍結などの恐れがありますので施工後は通風を良くし、採暖、除湿機等による養生をしてください。
3. 夏場でも乾燥するまでに2～3日かかることがありますのでご了承ください。

その他の注意

1. 本品は内装用です。外部への使用は避けて下さい。また、浴室・台所など常に水に触れる恐れのある場所や**天井への使用はできません**。
2. 本品は、ホタテ貝殻などによる自然素材のため、施工中・施工後ともに、わずかな臭いがありますが、乾燥することにより無臭になります。
3. 本品は、自然素材を原料としておりますので、ロットによる多少の色違いは、御容赦ください。

目次

施工前の注意事項 ②

- 安全上の注意点
- 保管および廃棄上の注意
- 現場環境の注意
- その他の注意

施工前の準備 ③

- 事前に準備するもの
- 練り混ぜ時に準備するもの

下地編 (1)-1 下地処理の方法 (石膏ボードの場合) ④

- 下地の扱い
- 石膏ボードのジョイント処理 (Gファイバーテープ貼り)

下地編 (1)-2 下地処理の方法 (石膏ボード以外の場合) ⑤

- 構造用合板の場合
- コンクリート下地の場合

下地編 (2) 養生・専用下塗材の塗布 ⑥

- 養生
- 専用下塗材 (クレイベース) の施工

仕上げ編 (1) 練り混ぜ ⑦

- 練り混ぜ

仕上げ編 (2) 上塗材 (ロマンティックウォールJ) の仕上げ ⑧

- 上塗材の施工